

獄中1年を迎えようとしている元区長の裁判

検察側証人の証言で

藤澤元区長・高橋元助役が、「業者から接待を受け」「思い通りに指名業者を指定していた」事実が続々

入札の現状

藤澤元区長の時代には、入札のほとんどを占めていた指名競争入札は、4月から、実質ゼロ。事前に予定価格を公表し、制限付き一般競争入札（区内業者優先など）の結果、平均落札率は

建設工事・・・昨年度96%、今年度（6月末現在）98%
物品購入・・・昨年度91%、今年度（6月末現在）82%

となっています。一般的には平均落札率が高いと、談合が連想されます。荒川区の場合、予定価格を厳しく査定しているのが落札率が高い理由と考えているとのこと。

西川区長の公約「内部通報制度の導入、働きかけの文書化等で恣意的な力が働き得ない制度づくり」「障がい児者、環境に配慮した透明性の高い公開調達制度の導入」の実現に期待しています。いったいいつになるのでしょうか！！

戦後60年の夏 戦争の歴史を心に刻もう

宗教の自由・政教分離は大切 だから靖国 公式参拝に反対です

戦前の日本は、国家神道のもと、戦争への道をひた走りました。戦死した夫を靖国神社に祀るのはいやだと裁判を起している人、戦死者は家族で霊を慰めるもので、国が関与するものではないと合祀に反対している人もいます。植民地出身の戦死者の家族は、先祖伝来の方法で供養するため、靖国神社から分祀してくれと裁判中。靖国神社遊就館は戦争賛美の展示ばかり。抗日運動があったことや、南方戦線の戦死者は、軍上層部が補給路を確保していなかったための餓死者が多いことなど、都合の悪いことには触れていませんでした。そんな一面的な歴史の展示でいいのでしょうか。

日本軍「慰安婦」問題解決 を

8月10日の水曜日は日本軍「慰安婦」問題解決のための世界連帯の日でした。1992年1月8日から14年間、ソウルの日本大使館前で日本軍「慰安婦」被害者達は毎週水曜日に真相究明と謝罪と補償を求めてデモを行っています。心に刻んでおきたい事実です。

15歳のときに強制連行され日本軍「慰安婦」にされた苦勞を語る
イ・ヨンスさん（8・10国会前）



—2005年第2回定例会—

指定管理者制度の条例可決*民間の力を活かし、新しい住民自治の手法とするために 利用者の意見の尊重が必要

不安の声が上がっていた、福祉施設の指定管理者制度の導入にあたって

- ① 利用者が高齢者や障害者であることを配慮し、3年間は現在受託している事業者を指定
- ② その後の指定管理者の選定にあたっては、公募を原則とし外部委員を含む選定委員会で選定
- ③ 第三者評価を義務づけ、利用者・家族の意見を聴取する
- ④ 指定の継続もありうる

と区は約束しました。

同時に、どの公の施設の指定管理者にとっても、労働者の安定した雇用と人材育成がなくては安定した区民サービスはありえません。安かろう、悪かろうにはならないよう、配慮すべきと思います。